

我が国の資源確保に係る予算確保及び

施策の推進に関する提言

平成26年11月20日

自由民主党

資源確保戦略推進議員連盟

平成 26 年 11 月 20 日

経済産業大臣 宮澤 洋一 殿

自由民主党資源確保戦略推進議員連盟 会長 古屋 圭司  
幹事長 新藤 義孝  
幹事長代行 菅原 一秀  
事務局長 片山 さつき

### 我が国の資源確保に係る予算確保及び施策の推進に関する申し入れ

我が国は、国民生活や産業活動を支えるエネルギー・鉱物資源の大半を海外からの輸入に依存している。特に原油は、情勢が不安定な中東からの輸入に依存しており、エネルギー安全保障等の観点からは脆弱な状態にある。一方で、我が国におけるエネルギー・鉱物資源の重要性は変わらないことから、こうしたエネルギー・鉱物資源をいかに安定的かつ低廉に確保するかが、我が国の最重要課題である。本年 4 月に閣議決定した「エネルギー基本計画」では「安定的な資源確保のための総合的な政策を推進する」と明記されている。また、「国土強靱化基本計画」のエネルギー分野においても、「メタンハイドレートによる国産エネルギーの確保」とされている。

しかしながら、昨今の ISIL の活動活発化による中東情勢、ウクライナ問題を巡るロシア情勢、シーレーンである南シナ海での係争など、我が国が資源を安定確保するための国際情勢は確実に悪化している。また、資源調達価格の高騰は、電気料金の値上げ等を通じて、国民負担の増加及び産業の競争力低下を招いており、加えて、貿易赤字を定着させている。

こうしたことから、エネルギー・鉱物資源の安定的かつ低廉な供給確保に向けた取り組みを一層強力に進めるべく、下記事項の実現を政府に対し強く要請する。

### 記

1. エネルギー安全保障上、最も安定的な供給源である国内のエネルギー・鉱物資源の開発を推進すること。  
このための予算を確実に確保すること。
  - ①表層型メタンハイドレートの開発の検討の前提となる埋蔵量推定を精度高く行うため、掘削調査を集中的かつより多くの海域で実施すること。
  - ②砂層型メタンハイドレートのより長期の海洋産出試験の実施に向けて、前回の試験結果を徹底的に分析し、十分な対策を準備して実施すること。また、生産技術に関する国際共同研究を推進すること。
  - ③我が国の南鳥島周辺の EEZ 内に多量に賦存することが期待される海のレアアースについて、積極的かつ集中的に調査を実施し有望海域を特定するとともに、平成 27 年度までに資源としてのポテンシャルを総合評価すること。
  - ④我が国周辺海域における石油・天然ガス開発を促進する為、有望な海域でのボーリング調査を行うこと。
  - ⑤海底熱水鉱床について、資源量の評価を進めるとともに、平成 29 年度の採鉱・揚鉱システムのパイロット試験に向けた生産技術の開発を着実に進めること。
2. ハイレベルでの積極的な資源外交を行い、資源国との関係を強化するとともに、必要な予算確保を行うことにより我が国企業による権益確保を強力に支援し、資源の供給源の多角化を図ること。
3. 資源の確保の推進に関する戦略を明確にするとともに、「資源の確保の推進に関する法律」（仮称）を早期に成立させ、関連施策の実施を円滑化するための仕組みを検討すること。